

3/11 福4

高浜3、4号 再稼働 地元同意手続き

審査ビデオ 関心低く

原子力規制委員会の審査に合格した関西電力高浜原発3、4号機の再稼働をめり、地元同意の手続きの一環として、審査内容をまとめた住民向けビデオが高浜町内のケーブルテレビで放映され始めて約1週間がたった。野瀬町長は、ビデオで町民の原発の安全性に対する理解を深めたい考えだが、今のところ審査に対する町民の関心は寄せられていない。多くの町民が「まだ見ていない」「(町民同士の)話題にならない」との声も上がり、関心が高まっていないのが現実だ。(谷口春馬、牧野将寛)

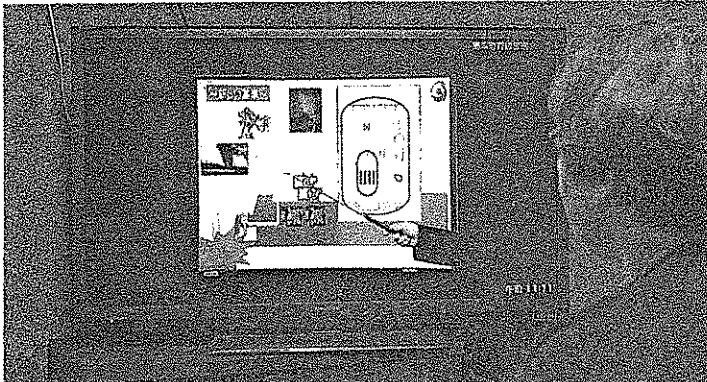
「パフォーマンス」

「説明会の方が…」

フォローアップ

放映1週間 町民の質問ゼロ

ビデオは3日から15日まで放映されている。冒頭で野瀬町長が趣旨を説明し、原子力規制庁の担当者が約30分間、東京電力福島第一原発事故の教訓や新規制基準に沿った地震津波対策、重大事故の発生に備えた対応などを解説している。審査が先行する九州電力川内原発(鹿児島県薩摩川内市)ビデオは一日6回放映され、民説明会が開かれた。2日の町民の反応は「まだいい」という声も聞かれた。70代女性は「内容は分かりませんが、いままら専門的な対策を知ったところで、広報として」と声を落とした。「集



原子力規制委員会の高浜原発3、4号機の審査内容を説明するビデオを見る町民—高浜町内

高浜町の野瀬町長は、原子力規制委員会の審査内容をまとめたビデオ放映を住民説明会の代わりと位置付けている。イベント的な説明会より、住民が家で好きな時間に見てもらう方が効果的との判断だった。「ビデオには「絶対安全」という言葉は出ていない。30日の町会本会議で、野瀬町長は「『絶対安全』という言葉を使った瞬間に思考停止に陥る」とし、「原子力規制委員会が求めてきたレベルの安全とは一体、どの程度の基準がクリアされたか」を言っているのか、意識して見ていた

取材ノート

見てもらう工夫 知恵絞れ

「絶対安全」ではない原発の再稼働には、住民の理解が不可欠。町会も町長も、ビデオを見た町民の声や反応を、地元同意の最終結論を出す判断材料の一つとしていたはずだ。「住民に知らせた」との一方的な既成事実だけにしてはならない。放映期間の延長も含め多くの町民が質問や意見を述べるよう、いまま一度知恵を絞るべきではないか。(牧野将寛)

落しこの小規模説明会なら、開いてもよかったのではないかと。人間味ある対応で「安全です」という誠意をみせてほしかった」とも話す。最初の数分で見ると、おぼろげに「60代男性は」「一種のパフォーマンスにも受け取れ、周りの人たちは冷めている。何人か見たのか、行政は「視聴率」を手チェックするべきだ」と語気を強めた。「これから見ようと思っっている」と関心を示す町民がいる一方で、放映自体を「知らない」という人もいた。

町は15日まで、審査結果への質問をファクスやメールで受け付けている。6日現在、問い合わせはあるものの正式な質問書は1件も届いていない。町は、3月下旬に質問に対する規制庁の回答をホームページで公表するとしている。

3/11
福

高浜再稼働

住民説明会を検討

政策や防災面 野瀬町長が表明

市町会

高浜町の野瀬豊町長は10日、関西電力高浜原発3、4号機の再稼働をめぐり、原子力規制委員会の審査内容をまとめたビデオ放映とは別に、国のエネルギー政策や防災面に関する住民説明会を検討していることを明らかにした。

町会一般質問での渡邊孝議員への答弁。同町は、町民の同原発の安全対策に対する理解を深める手法として、ケーブルテレビでビデオを放映。野瀬町長は「審査内容に関する説明会は開かない」と従来の考えを示した上で、「ビデオではエネルギー政策面、防災面での国の考え方が確認できない。これらの町	民への周知や意見の吸い上げについて別途検討している」と述べた。同町によると、説明会は3月下旬～4月上旬をめぐりに調整。町内の各区分や再稼働への賛否を問わずに各種団体の代表者らを集め、経済産業省や内閣府の担当者に説明してもらおうという。
--	---

る野瀬町長の同意判断の材料の一つにする考え。

(谷口春馬)

◇高浜町◇
定例高浜町会は10日再開。山本富夫議員ら4人が一般質問した。

町内の小中学校の統廃合について、永登三夫教育長は「当面は現在の学校数を維持して教育のさらなる充実を図る」と説明。将来的に人口減少が進み、地域コミュニティ維持が困難と予想されたり、子どもの学習機会が損なわれる場合は、統廃合について地域住民や保護者と検討していくと、考えを示した。

(谷口春馬)